

納税の大切さを知りました。 ～租税教室～

11月4日(水)の6校時に、租税教室が行われました。

公益社団法人福島法人青年部会の方を講師としてお招きし、税金の種類や使い道などを学びました。

3年生は、社会科の授業で「公民的分野」を学習していますが、その中で、「財政及び租税の意義、国民の納税の義務」を学びました。

納税は、日本国憲法で義務付けられている3つの義務の中の1つであり、その納められた税金によって、様々な公的サービスが受けられますが、当日は、講師の方から、よりわかりやすくお話を聞くことができました。

生徒の皆さんは、今はまだ消費税以外の税金を納める立場にはありませんが、今回の租税教室によって、納税の大切さを理解でき、将来は立派な納税者となることと思います。とても貴重な機会を与えていただいたことに、感謝したいと思います。

**新型コロナウイルスに負けない、工夫次第で思い出作り**

11月3日付の福島民報新聞の「みんなのひろば」欄に、3組の吉田峻さんの投稿が掲載されました。内容は、様々な行事が中止となってしまいましたが、様々な工夫をして文化祭を企画し、全校生に楽しんでもらうことができるようになった、というものです。

今年は、様々な制約の中での学校生活を強いられています、その中であって、前に向かって進んでいくとする素晴らしい文章だと思いました。以下に掲載しますので、ぜひご一読ください。

多くの行事 工夫が思い出に

新型コロナウイルスは私たちの生活を制限し、当たり前の日常をことごとく奪っていった。

私たちは、感染予防のため、三密回避やソーシャルディスタンス、マスク着用などさまざまなことを心がけて生活しているが、多くの学校行事がなくなった。

私たちにとって最後の中体連。二年生の時から準備していた修学旅行。将来のための体験入学。他にも、思い出となる行事が中止になった。

だから、世間は私たちを「かわいそう」と思うことがあるかもしれないが、学校側も中止になった行事に代わりになるものを用意してくれ、それなりに私たちは楽しむことができた。

生徒会副会長の私は、限られた時間の中で文化祭を企画し、何とか盛り上げようと工夫した。初の試みである生徒会企画も、コロナ対策をしながら楽しんでもらい大成功だったと思う。

「工夫次第で思い出に残る最大の行事を成し遂げることができる」ということを学んだ。

<第2学期 第13週の予定>

月日	朝	1	2	3	4	5	6	行事等
11/16(月)	予想問	月1	月2	月3	月4	月5	月6	※1年生福祉体験
11/17(火)	予想問	火1	火2	火6	火4	火5	火3	火126453の順
11/18(水)	予想問	水1	水2	水3	水4	水5	水6	※2年生学年レク(5・6校時) 清掃なし
11/19(木)	テス勉	木3	木4	木5	木6	三者面談		短縮・午前中木3456の授業 三者面談①
11/20(金)	英17	金1	金2	金3	金4	三者面談		短縮・午前中金1234の授業 三者面談②

19日(木)より、三者面談が行われます。3年生の控室は、2階ラーニングセンターになります。

21日(土)は、数学検定が9:00より行われます。